



ノート型モニター

ご使用前にお読みください。



1502 ユーザーガイド

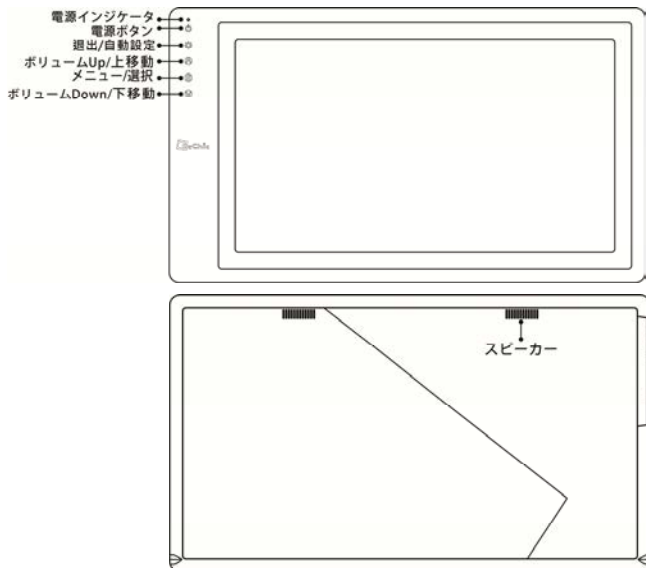
目次

第一章 内容物の解説	-----1
その1. モニタ本体と付属品	-----1
その2. タッチスクリーンモニタに関する注意	-----2
その3. 安全に関する警告	-----3
その4. 安全に関する注意	-----3
その5. 製品のメンテナンスについて	-----3
その6. 液晶のドットについて	-----3
その7. 電子機器の廃棄について	-----3
第二章 インストールガイド	-----4
その1. Stand4の使用方法	-----4
その2. ビデオケーブル、USBタッチ出力/電源ケーブルの接続	-----4
その3. 電源アダプタ(別売)の接続	-----6
その4. VESA100マウンタ(別売り)の取り付け	-----6
第三章 On-Lapの起動	-----7
その1. On-Lapの電源On/Off手順	-----7
その2. ディスプレイ設定	-----7
その3. Windows 8タッチジェスチャに関する説明	-----8
第四章 ホットキー、LED、OSD表示について	-----8
その1. ホットキー、LED表示について	-----8
その2. OSDの解説	-----9
その3. 電力低下時の警告表示	-----11
第五章 製品仕様	-----11
その1. プラグアンドプレイ	-----11
その2. ピンアサインと初期設定について	-----11
その3. 仕様詳細	-----12
その4. トラブルシューティング	-----13

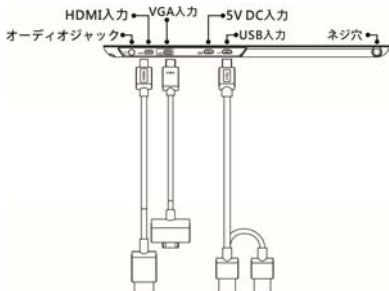
第一章 内容物の解説

その1. モニタ本体と付属品

1. 各部の説明



図：製品本体、ボタンとLED



図：On-Lap 1502 入出力ポート

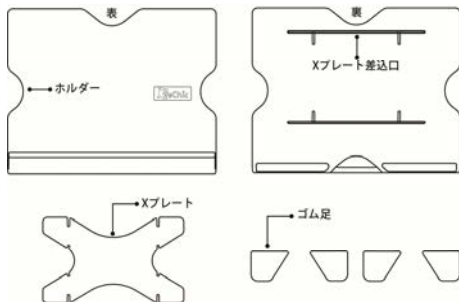


図 : On-Lap 1502
入力ポート

2. 内容物と付属品

付属品	1502 T	1502 I
Micro HDMI ビデオケーブル x1	Yes	Yes
VGA ビデオケーブル x1	No (別売)	No (別売)
Micro USB to USB タッチ信号/電源 ケーブル	Yes x1	Yes x2
電源アダプタ (5V,Max.2A) x1	No (別売)	Yes
Stand 4 x1	Yes	Yes
マニュアル x1	Yes	Yes

その2. タッチスクリーンモニタに関する注意

1. タッチパネルを触る場合に、鋭利なものを使用することは避けてください。指で優しくタッチ、スワイプ操作を行ってください。
2. 液晶パネルに肘を乗せる、あるいは何らかの重量物を乗せてパネルに過剰な圧力をかけないようにしてください。
3. タッチ操作を行う際は、指が清潔で乾いた状態で行ってください。濡れたまま操作すると、正しく操作ができない場合があります。爪を使わず、指の腹の部分を用いて操作してください。
4. タッチ操作の信号は、USBケーブルを介してWindows8/Windows7のインストールされたコンピュータに伝送されます。**製品に付属するMiro USB to USBケーブルが、正しい端子に接続されていることを確認して操作してください。**
5. 電源の供給が不安定な場合、タッチ操作の信号が正しく伝送されず、意図した操作が行えないことがあります。このような場合、ノートPCのUSBポートに直接接続するか、製品付属の電源アダプタで電源供給を行うことをお勧めします。
6. 汚れが目立つ場合、メガネ拭きのような柔らかい布でそっとふき取ってください。このとき、製品本体から電源ケーブルは抜いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤を含む薬品等の使用は避けてください。

7. 製品を長時間直射日光の下で使用することは避けてください。製品の変形や故障に繋がる恐れがあります。
8. 過剰な圧力がかかったり、鋭利な物体でこすったりすると製品が故障する恐れがあります。製品を持ち運ぶ場合はノートPC向けのキャリーバッグを用いるなどして、モニタ表面に負荷がかからないようにしてください。バッグに入れる場合も、タッチパネル部分がノートPCなど他の機器とこすれたりぶつかったりすると破損の恐れがありますのでご注意ください。

その3. 安全に関する警告

1. 製品を転倒、落下させてしまうと故障の恐れがあります。不安定な場所や凹凸のある場所に設置することは避けてください。また、乗り物での移動中に本製品を利用することは避けてください。
2. 振動のある場所に製品を設置しないでください。内部の部品の損傷を招く恐れがあります。
3. 耐水性ではありません。水に近い場所で使用しないようにしてください。
4. 製品表面の隙間やみぞに異物を入れないようにしてください。
5. スピーカの音量を上げ過ぎると、健康を損なう恐れがあります。オーディオジャックを使用するまえにボリューム設定が適切か確認してください。

その4. 安全に関する注意

使用前に本マニュアルをよくお読みになり、正しく製品をお使いください。本マニュアルは大切に保管してください。

その5. 製品のメンテナンスについて

お客様ご自身で製品の修理は行わないようにしてください。次のような場合には、お住まいの国のサービスプロバイダに連絡し、メンテナンスを受けてください。

- 1) マニュアルに沿って操作しても正しく動作しない
- 2) 製品を転倒、落下させてしまい破損させてしまった
- 3) 電源ケーブルやビデオケーブルが破損、断線した
- 4) 製品に水が浸入してしまった

製品の不適切なお取り扱いや自然災害、故意または過失による汚損・破損は製品保証の対象とはなりません。より詳細な保証条件については保証規定をご確認ください。

その6. 液晶のドットについて

液晶パネルはたいへん精密な技術により製造されています。しかしながら液晶パネルには非常に多数の素子が存在するため、数点の程度で輝点(常時点灯する点)や暗点(常時点灯しない点)が存在する場合がございます。

これは液晶パネルの性質によるもので、製品の不良ではありません。

本製品に関しては5点以下の輝点・暗点は保証規定適用の範囲外として取り扱わせていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

その7. 電子機器の廃棄について

この製品は家庭廃棄物と混合することは、絶対にしないでください。リサイクルに適した収集場所に引き渡すべきです。



第二章 インストールガイド

その1. Stand4の使用方法

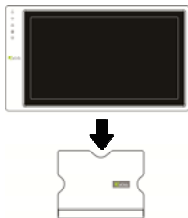
Step1: Stand4を組み立てる

ご利用になりたいスタンドの角度に応じて、XプレートをStand4本体背面の溝に差し込みます。

設置場所に接触する箇所に、ゴム足をはめ込みます。

Step2: On-Lap 1502をStand4に取り付ける

On-Lap 1502をStand4に取り付けます。スタンドの中央部分にモニタを置くようにします。



その2. ビデオケーブル、USBタッチ出力/電源ケーブルの接続

Step1: ビデオケーブルの接続

①HDMI接続の場合

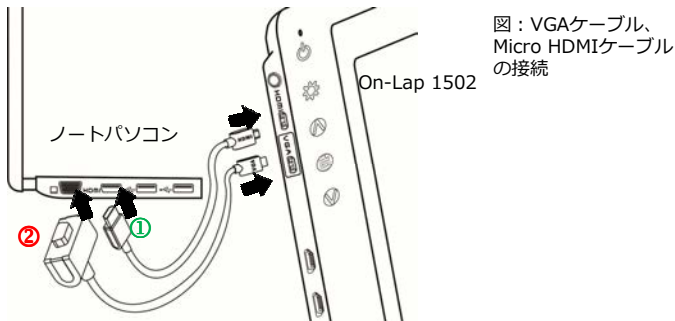
製品付属のMicro HDMIケーブルを使用します。On-Lap 1502のMicro HDMIポートにケーブルのMicro HDMI端子**HDMI** (Dタイプ)を接続し、ケーブルの反対側のHDMI端子(Aタイプ)をノートPCやタブレットパソコン、ゲーム機などのHDMIポートに接続します。

②VGA接続の場合

別売りのVGAケーブルを使用します。VGAケーブルのVGA端子をOn-Lap 1502のVGAポートに接続し、ケーブルの反対側のD-sub端子をノートPCのVGA端子に接続します。

*On-Lap 1502本体のHDMIポートとVGAポートは外観が似通っているため、接続するポートを良く確認し、適切に接続してください。

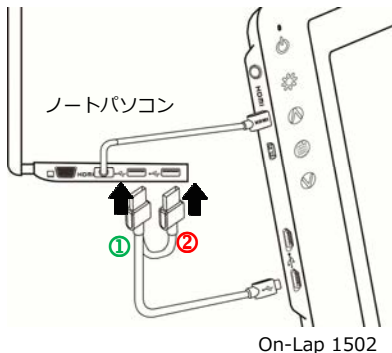
**音声の入出力は、HDMIケーブル使用時のみ行うことはできます。VGAケーブルで音声の入出力はできません。





Step2:USBタッチ出力/電源ケーブルの接続

- ① 製品付属のUSBケーブルのMicro USB端子(Bタイプ)をOn-Lap 1502のMicro USB端子に接続します。ケーブルの反対側の端子をノートPCのUSBポートに接続します。USBケーブル1本で給電とタッチ信号の伝送を行うことができます。
- ② 1本のUSBケーブルで給電が不十分な場合は、ノートPCのUSBポートをもうひとつ使用して給電を行います。

図：USBタッチ出力/電源ケーブルの接続



*On-Lap 1502には2基のUSBポートがあります。"USBポート"  は電源供給とタッチ信号の伝送を同時に行うことができます。"DC IN"  ポートからは電源供給のみ行うことができます。

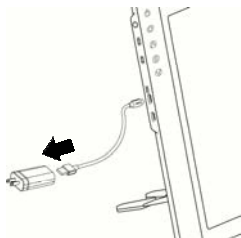
その3. 電源アダプタ(別売)の接続

電源を外部から供給したい場合は、別売りの電源アダプタを使用します。

電源アダプタをコンセントに差し込み、USBケーブルでOn-Lap 1302のDC INポートに接続します。

このとき電源の供給はDC INポートからのみ行われます。

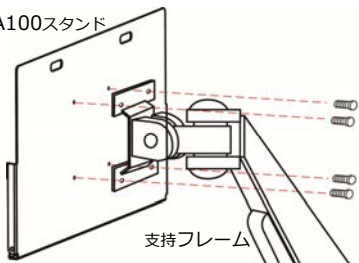
*On-LapのUSBポートとノートPCのUSBポートは接続したままにしてください。取り外すとタッチ信号の伝送を行うことができません。



その4. VESA100マウンタ(別売り)の取り付け

下の図に従ってVESA100マウンタをモニターアームやウォールマウントキットに取り付けます。

VESA100スタンド

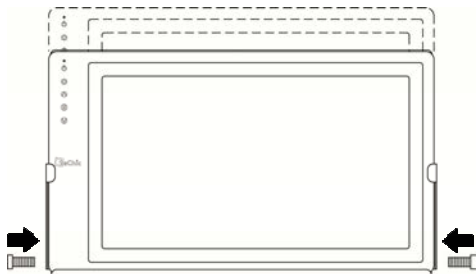


図：VESA100マウンタのモニターアームへの取り付け

On-Lap 1502をVESA100マウンタに取り付け、ネジ4本で固定します。

***モニタの位置を調整する場合は、両手でマウンタの部分を持って行ってください。液晶面をおしながら移動すると、破損に繋がる恐れがあります。**

図：On-Lap 1502のVESA100マウンタへの取り付け



第三章 On-Lapの起動

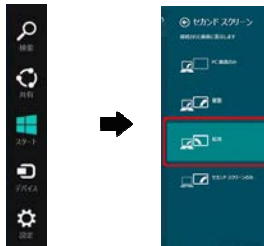
その1. On-Lapの電源On/Off手順

1. 電源ボタンを押すことでOn-Lap 1502の電源を入/切できます。
2. はじめにUSBケーブルをOn-Lapに接続したときには、On-Lap 1502は自動的に起動し、映像信号を検出します。
(接続方法については第二章その2. を参照してください)

その2. ディスプレイ設定

1. 拡張モード(Windows 8)

画面右のメニューから直接選択します。 [デバイス] -> [セカンダリモニタ] -> [拡張モード]



2. 解像度設定(Windows7)

注：Windows7はメインディスプレイ側をタッチ操作のモニタとして使用するよう設計されています。
タッチ機能を使用する場合は、On-Lap 1502側をメインディスプレイにするように設定してください。

- スタートボタンをクリックします。
- コントロールパネルから[画面の解像度の調整]を選択します。
- 通常プライマリモニタがノートPC側、セカンダリモニタがOn-Lap側に設定されます。
- 「ディスプレイ」の項目でOn-Lap側を選択し、適切な解像度を設定します。
- 利用方法に応じてモニタの向きを設定します。
- 表示領域を拡大したい場合は拡張モードを選択します。
- 2画面に同じ表示を行う場合は、表示画面を複製するを選択します。



その3. Windows8 タッチジェスチャに関する説明

1. タッチ操作全般の説明

タッチパネルの淵からスワイプして操作します。

①右端からスワイプ(矢印1)することでチャームが開きます。検索、共有、スタート、デバイス、設定

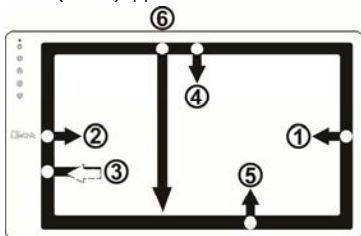
②左端から中央に向けて(矢印2)スワイプすることでappの切り替えを行います。

③左端から中央に向けて(矢印3)スワイプしそのまま左端に折り返してスワイプするとappを全て表示できます。

④⑤上端から中央に(矢印4)、もしくは下端から中央に向けて(矢印5)スワイプするとappのコマンドを表示できます。

⑥appを上から下に向けてドラッグすると(矢印6)appを閉じることができます。

図：タッチジェスチャについて



2. アイテムの選択: アイコンをタップすることで選択できます

3. アイコンをしばらく押し続けて離すと、詳細を表示できます。

4. 二本の指を使用して拡大(ピンチ操作)、縮小(ストレッチ操作)ができます。

5. スクリーン上で指を滑らせることで、コンテンツ間の移動ができます。

第四章 ホットキー、LED、OSD表示について

その1. ホットキー、LED表示について

*モニタ設定用のボタンはタッチボタンになっています。指で軽く触れて操作してください。ボタンを強い力で押し続けると、故障に繋がります。

▲ボタン、▼ボタンは、触れ続けることで連続的に操作することができます。複数のボタンを同時に触ると、正しく操作できない場合があります。

LEDライトについて：

On-Lapの動作中には緑に点灯し、動作していないときは赤く点灯します。

ホットキーの説明

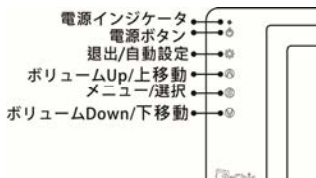
電源ボタン：モニタのOn/Offに使用します。

退出/自動設定ボタン：OSDメニューの操作時にこのボタンで一つ前のページに戻ることができます。OSDメニューが表示されていないときにこのボタンを押すと、モニタの自動調整を行います(自動調整はアナログVGA入力時のみ有効)。

ボリュームUp/上移動ボタン：OSDメニューが表示されていないときはこのボタンでスピーカのボリュームを上げることができます。押し続けることで連続的にボリューム操作ができます。OSDメニューが表示されているときはカーソルを上移動するために使用します。

メニュー/セレクトボタン：このボタンでOSDメニューを呼び出すことができます。

ボリュームDown/下移動ボタン：OSDメニューが表示されていないときはこのボタンでスピーカのボリュームを下げるすることができます。押し続けることで連続的にボリューム操作ができます。OSDメニューが表示されているときはカーソルを下移動するために使用します。



その2. OSDの解説

1. ボタンによる基本的操作の説明

⚙️ ボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。▲・▼を押して、メニュー内容の表示を上下に移動させます。調整機能を作動させたい場合は🔊を押します。選択した機能にサブメニューがある場合は▲・▼を押すと表示されます。調整したい機能を選択するときは🔊を押します。▲・▼を押して選択した機能の設定を変更します。終了するときは⚙️を押すと自動的に終了します。その他の機能を調整するときは上述のステップを繰り返して下さい。

2. 色の調整 - コントラスト

🔊を押してOSD画面を表示させます。▲・▼を押して🔊に合わせ、🔊を押して選択します。▲・▼を押して**コントラスト**に合わせ、🔊を押して選択し、▲・▼を押してコントラストを調整します->0-100の範囲でコントラストを調整。長押しすると連続してアップ/ダウンします。⚙️を押して終了します。




3. 色の調整 - 輝度

🔊を押してOSD画面を表示させます。▲・▼を押して🔊に合わせ、🔊を押して選択します。▲・▼を押して**輝度**に合わせ、🔊を押して選択し、▲・▼を押して輝度を調整します。->0-100の範囲でバックライトを調整。長押しすると連続してアップ/ダウンします。⚙️を押して終了します。



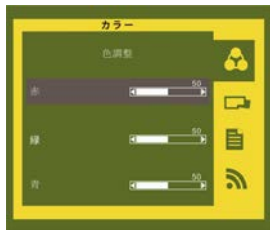
4. 色の調整 - 色温度の調整

☰を押してOSD画面を表示させます。▲・▼を押して  に合わせ、☰を押して選択します。


▲・▼を押して色温度調整に合わせ、☰を押して選択します。

▲・▼を押して、R/G/Bの彩度をそれぞれ調整します。

赤->画像の「赤色」の彩度をアップまたはダウン。緑->画像の「緑色」の彩度をアップまたはダウン。青->画像の「青色」の彩度をアップまたはダウン。⚙️を押して終了します。



5. 色の調整 - 色温度

☰を押してOSD画面を表示させます。▲・▼を押して  に合わせ、☰を押して選択します。

▲・▼を押して色温度に合わせ、☰を押して選択します。▲・▼を押して調整します。

暖色の色温度 6500K->暖色の色温度に回復。


冷色の色温度9300K->冷色の色温度に回復。

カスタム設定->初期設定の色温度に回復。

⚙️を押して終了します。



6. 画像の調整：入力ビデオ信号がVGAのときのみに適用

☰を押してOSD画面を表示させます。▲・▼を押して  に合わせ、☰を押して選択します。

▲・▼を押してサブメニューを表示させ、☰を押して選択し▲・▲で調整します。

クロックレート->水平スキャンレートを調整します。レートが適切でない場合は、画面に垂直の線が現れ、画面幅が正確に表示されなくなります。

フェーズ->ピクセルクロックのフェーズを調整します。調整が適切でない場合は、明るい画像が表示されるときに水平の画面障害が現れます。

シャープネス->表示画面を鮮明にします。






水平ポジション->画像の水平ポジションを調整します。






垂直ポジション->画像の垂直ポジションを調整します。

⚙️を押して終了します。




7. メニューの調整

を押してOSD画面を表示させます。・を押して  に合わせ、を押して選択します。

・を押してサブメニューに合わせ、を押して選択し、・で調整します。






OSDタイマー->OSDの表示時間を調整します。
言語->画面に表示される言語を選択します。
リセット->初期設定値に回復します。






バージョン->出荷時の製品バージョン。

を押して終了します。



8. 信号の選択


押し、OSD画面を表示させます。・を押して  に合わせ、を押して選択します。

・を押してサブメニューに合わせ、を押して選択し、・で入力ソースを選択します。

VGA ->入力ソースをアナログに選択します。

DVI ->入力ソースをデジタルに選択します。

自動探知 ->入力信号を自動探知します。

を押して終了します。



その3. 電力低下時の警告表示

スピーカのボリュームを大きく上げていると、動作に必要なこのときは電力低下の警告表示が表れます。ただちにスピーカのボリュームを下げ、USBケーブルの二股コンピュータ側端子を2基のUSBポートに接続して電源を確保してください。スピーカのボリュームを下げずに使用し続けると、On-Lapは自動的にボリュームを下げ、ディスプレイ輝度を下げます。



図：電力低下時の警告表示(パネル右上に表示されます)

第五章 製品仕様

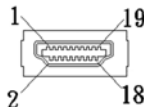
その1. プラグアンドプレイ

On-Lapモニターは、VESA DDCに適合しVESA DDC2に対応します。DDC2BはI²Cで定められる双方向バスに基づきます。PCはDDC2Bを通じてEDIDを取得します。On-Lapモニターは、自己の情報をPCに伝え、DDCのレベルに基づき表示能力に関する情報も伝えることができます。

その2. ピンアサインと初期設定について

1. HDMIコネクタのピン配列

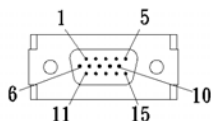
図：HDMI-Aコネクタ（HDMI出力ポートに接続）



ピン	名称	ピン	名称
1	TMDS Data2+	11	TMDS Clock Shield
2	TMDS Data2 Shield	12	TMDS Clock-
3	TMDS Data2-	13	CEC
4	TMDS Data1+	14	Reserved
5	TMDS Data1 Shield	15	SCL (I ² C Serial Clock for DDC)
6	TMDS Data1-	16	SDA (I ² C Serial Data Line for DDC)
7	TMDS Data0+	17	DDC/CEC Ground
8	TMDS Data0 Shield	18	+5 V Power
9	TMDS Data0-	19	Hot Plug Detect
10	TMDS Clock+		

2. VGAコネクタのピン配列

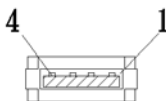
ピン	名称	ピン	名称	ピン	名称
1	RED	6	RGND	11	NC
2	GREEN	7	GGND	12	SDA
3	BLUE	8	BGND	13	HSYNC
4	NC	9	+5V	14	VSYNC
5	GND	10	SGND	15	SCL



図：VGA (D-Sub) コネクタ
(D-Sub出力ポートに接続)

3. USB電源コネクタピン


ピン	名称
1	Vcc(+5V)
2	NC
3	NC
4	Ground



図：USBケーブルコネクタピン (5V DC電源に接続)

その3.仕様詳細

規格	On-Lap 1502 I	On-Lap 1502 T
パネル種別	TFT IPS 廣視角液晶面板(LED 背光)	TFT TN 液晶面板 (LED 背光)
解像度/色数	1920 x1080/262K 色	1366 x 768 /262K 色
ドットピッチ	0.179 mm	0.252mm
視野角(標準値)	(上/下/左/右) 80°/80°/80°/80°	(上/下/左/右) 15°/35°/45°/45°
コントラスト比	400:1(標準値)	400:1(標準値)
応答速度	35 (ms) (標準値)	8 (ms) (標準値)
輝度	220 (cd/m ²)(最大値)	200 (cd/m ²)(最大値)
水平走査周波数範囲	30KHz - 83KHz(自動)	30KHz - 83KHz(自動)
垂直走査周波数 範囲	56KHz - 76KHz(自動)	56KHz - 76KHz(自動)
標準解像度	1920x1080(60Hz)	1366x768(60Hz)

ビデオ解像度	480p; 576p; 720p; 1080p; 480i; 576i; 1080i	
タッチ方式	投影型静電容量方式; 10指マルチタッチ	
対応OS	Windows7 / Windows8	
スクリーン硬度	タッチスクリーン硬度 \geq 7H、 リムーバブルアンチグレアフィルム: 3H	
スピーカ	2x1.0W(最大)(定格インピーダンス 8 Ω at 2KHz)	
定格電圧	5V  DC	
定格電流	1.8A (輝度100、音量0)	1.2A (輝度100、音量0)

その4. トラブルシューティング

1. トラブルシューティング

症状	対策
タッチ操作を使用としても反応がありません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Micro USBケーブルがOn-Lap 1502のUSBポートに正しく接続されているか確認してください。 2. Micro USBケーブルが誤ってOn-Lap 1502のDC INポートに接続されていないか確認してください。DC INポートは電源供給のみに用いられ、タッチ信号は伝送できません。
画面が表示されません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. HDMIケーブルもしくはVGAケーブルによってOn-Lapとコンピュータが正しく接続されているか確認してください。 2. Micro HDMIケーブルが誤ってOn-LapのVGAポートに接続されていないか確認してください。 3. Micro HDMIケーブルが誤ってOn-LapのVGAポートに接続されていないか確認してください。
OSDで"No Signal"と表示されます。	ビデオケーブルがOn-Lapの映像入力ポートとコンピュータの映像出力ポートに正しく接続されているか確認してください。
表示が突然消えたり、画面表示が大きすぎるあるいは小さすぎる、正しく中央に表示されない状態になっています。	このような症状は一般にVGA入力の場合に発生します。OSDメニューで解像度や周波数、画面の水平位置、垂直位置の調整を行ってください。
映像は表示されますが音声が出されません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. スピーカのボリュームが0になっていないか確認してください。 2. VGA入力の場合は音声は伝送できません。
電力低下の警告が表示されます。	消費電力が供給電力を上回っています。ボリュームと輝度を下げてください。 また、二股になっているUSBケーブルのコンピュータ側端子をUSBポート2基に接続してください。 あるいは別売の電源アダプタを使用して電力を供給してください。

2. お使いのコンピュータには“ディスプレイを同時に表示する”、“これらのディスプレイを拡張”や“直向（フリップ）”の選択肢がない場合、おそらくコンピュータのグラフィックスカードの機能が制限されました。またはコンピュータが省電モードになっているので、グラフィックスカードの機能を制限したり、グラフィックスカードのドライバをアップデートする必要があります。コンピュータの製造元、またはグラフィックス・チップ・ベンダーの技術サポートを受けることをお勧めします。

保証規定

製品のご購入から1年間（12ヶ月間）に限り、通常の使用状態において万が一故障した場合、該当製品を無償にて修理致します。

なお、修理が困難な場合、同等品との交換となる場合があります。

保証期間内であっても以下のような場合は有償修理となります。

- ・お客様の不適切な取扱が原因で故障、破損が生じた場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天地異変などによる故障及び破損の場合。
- ・弊社の修理部門以外で修理や改造などを行った製品。
- ・部品や付属品などの破損及び遺失等。

マニュアルをの内容をよくお読みになり、正しく製品をご使用ください。

より詳細な保証内容、条件、使用方法等につきましては、弊社のホームページをご確認ください。

【製品情報】 <http://www.gechic.com>

<http://www.tekwind.co.jp/products/GEC/category.php>

モデル：On-Lap 1502 I / 1502 Tノート型モニター

シリアルNo：

購入日付：

販売店：

1年
保証

(販売店のスタンプ)